

連載 患者目線の医療安全 9

不自然な「母乳育児」の強制はとても危険
～産科医療補償制度の再発防止の提言から～

患者の視点で医療安全を考える連絡協議会 世話人 勝村 久司



窒息による医療事故を防ぐために

乳幼児突然死症候群 (SIDS) の防止のためにうつぶせ寝をやめるようになってから久しいですが、2019年9月5日に、一般社団法人日本周産期・新生児医学会から「母子同室実施の留意点」という提言が出されました。この提言は、私も委員を務めている産科医療補償制度の再発防止委員会が2016年3月にまとめた「第6回再発防止に関する報告書」の指摘を受けて検討されていたものです。

この第6回の報告書では、その時点で原因分析が終わっていた分娩時の事故等によって重度の脳性麻痺となった793事例のうち、「出生から生後5分までは新生児蘇生処置が不要であったのに、その後の経過において児に異常徴候が出現し、重度脳性麻痺になった188の事例」について検討した結果がまとめられていました。

これらの事例の中には、出産直後の早期母子接触や、出産から数日後までの母子同室の際の乳幼児突発性危急事態 (ALTE) で突然、赤ちゃんが

急変した事例が含まれています。

このうち、出産直後の早期母子接触では、疲れて寝ている母親の胸の上にうつぶせに赤ちゃんを寝かせるようなケースもあり、鼻腔圧迫による気道閉塞になってしまう可能性があります。

実際、赤ちゃんが急変してしまった際のお母さんの感想には、「出産直後に仰向けに寝たまの私の胸の上に赤ちゃんがうつぶせに置かれたが、赤ちゃんの顔が見えない状況なので不安だった」という主旨の感想がありました。

そのために、産科医療補償制度の再発防止委員会は、下図を含む提言を2016年に作成し全国の医療機関に配布しました。

ポイントは「赤ちゃんの顔が見える」こと

この図のポイントは、お母さんの上体を30度以上まで起き上がらせること、すなわち「お母さんから赤ちゃんの顔が見える」ことです。

そして、2019年9月に出された「母子同室の留

実施にあたって

赤ちゃんの顔をお母さんからよく見える位置にしましょう。

お母さんは、上体を30度前後にしましょう。
(30度前後は、推奨されている角度です)

温めたバスタオル等で赤ちゃんを覆ってもらいましょう。
(赤ちゃんの体温が安定します)

赤ちゃんの顔を横に向けましょう。
(赤ちゃんの呼吸が楽になります)



眠くなったり、自分の体調に不安がある場合は、医療関係者に相談しましょう。

赤ちゃんの顔が悪い、呼吸がとまる、うなり声が出る、なんとなく様子がおかしいなど、赤ちゃんの異変に気づいたら、すぐに医療関係者に赤ちゃんの状態を伝えましょう。

意点」でも、下記が提言されています。

- ・児は仰臥位とする（腹臥位・側臥位にしない）。
- ・児のベッドに軟らかい寝具を用いない。
- ・母子はベッドを共有しない。

母子同室で赤ちゃんが急変してしまった際のお母さんの感想には、「母子同室中に側臥位で寝ている私に授乳させるように赤ちゃんの顔が押し付けられ、タオルケットで頭ごと巻かれるように（または、毛布で赤ちゃんの背中から支えるように）固定されたが、赤ちゃんの顔が見えない状況だったので不安だった」等の感想がありました。

生まれてすぐに、母親と赤ちゃんを離して管理するのは不自然で、早期の母子接触や母子同室のほうが自然であると思いますし、母乳育児も母親に無理を強いない範囲では肯定されるべきだと思います。しかし、母親から赤ちゃんの顔が見えない状況の授乳を医療スタッフが強制するのは、やはり極めて不自然なことなのです。

皆さんの病院で、そのような不自然な行為によって、赤ちゃんの安全が脅かされていることがないか確認し、SIDSやALTEをできる限り防止してほしいと思います。

後 記

新春のお慶びを申し上げます。恒例の事故報告状況では「発生場所」に焦点を当てました。各部署に特有のリスクに改めて気が引き締まる思いがします。21回を重ねた連載「医療安全をシステムで保証する」は本号で最終回です。2018年4月以来、執筆の労をお取りいただいた飯塚悦功先生には心から感謝します。一方、今年5年の節目を迎える医療安全調査制度を概括する中で、木村壯介先生は、専門職の自律がとりわけ重要であることを力説されています。ご一読ください。私達も設立後12年、安全な医療を目指すパートナーシップ推進への決意を新たにしております。

医療安全レポート No.34

2020年1月1日発行

一般社団法人 医療安全全国共同行動

議長 高久 史磨

〒113-0033 東京都文京区本郷2-29-1 渡辺ビル2階
TEL. 03-6240-0893 FAX. 03-6240-0894
e-mail secretariatpartners@kyodokodo.jp
HP <http://kyodokodo.jp/>